業務名　：　町道網代学校線消雪装置（取水施設）改修工事設計業務

特　記　仕　様　書

第1（目的・主旨）

本業務は、町道網代学校線において、消雪装置改修にかかる地質調査及び設計を行うものである。

第2（適用範囲）

本業務の履行に当たっては、特に定めのない限り、調達公告日時点で最新の「測量業務共通仕様書」、「設計業 務共通仕様書」、「地質・土質調査共通仕様書」、「鳥取県県土整備部用地調査等業務共通仕様書」、「鳥取県 県土整備部地盤変動影響調査等標準仕様書」、「発注者支援業務共通仕様書（試行）」（https://www.pref.tottori.lg.jp/45149.htm）によるほか、この特記仕様書によること。

編	章	節	条	見　出　し	項	特記及び追加仕様事項
追加				業務内容		【地質調査】 ・土質ボーリング（礫混じり土砂）　φ150　　5m ・土質ボーリング（砂礫）　φ150　　10m ・揚水試験　　1式 【設　　計】 ・消雪装置（ポンプ設備）設計　　1式
追加				資料の貸与及び返却		本業務において必要となる資料については、~~初回打合せ時において、~~双方確認し貸与することとする。
追加				~~関係官公庁への手続き等~~		
追加	1			地元関係者との交渉等		地元関係者との交渉等に必要な資料（本点検に係る道路通行止に関する案内等）を作成すること。
追加				成果物の提出		成果物として以下を提出すること。 ・報告書　2部 ・図面（A3縮小版）　1部 ・電子媒体（CD-ROM又はDVD-R）　2部
追加				~~関連業務~~		
追加				疑義等		本業務を遂行するうえで疑義を生じた場合は、調査職員と協議し、速やかに処理すること。
追加				~~見積り等~~		
追加				労働環境の改善に向けた取組		本業務の実施にあたっては、受発注者双方の労働環境の改善を図るため、「労働環境の改善に向けた取組について（平成29年1月31日付第201600158128号県土整備部長通知）」に基づき、受発注者双方でワンデーレスポンス、ウェンズデー・ホーム等の労働環境の改善に向けた取組を実施すること。
追加				~~遠隔臨場~~		
追加				設計変更等取扱要領		設計変更等については、https://www.pref.tottori.lg.jp/303205.htmに掲載された最新の「測量等業務設計変更等取扱要領」によること。

編	章	節	条	見 出 し	項	特記及び追加仕様事項
追加				~~情報共有システム~~		
追加				~~オンライン電子納品~~		
追加				~~BIM/CIM適用~~		
追加				~~担当技術者の実施状況報告書~~		
追加				~~真夏日以上の日に現場作業を見送った場合の履行期間の延長~~		~~真夏日以上の日(※)に、現地踏査、測量、ボーリング、調査等の現場作業の実施を見送った場合、見送った期間に相当する日数分、履行期間を延長することができる。~~ ~~現場作業を見送った場合は、当該月の履行報告書に見送った期間に相当する日数の累計を明記すること。~~ ~~履行期間の延長を希望する場合は、当該現場作業が完了した日以降に、履行期間の延長について調査職員と協議すること。~~ ~~なお、見送った期間に相当する日数には、現場作業日数だけでなく、再準備等に要した日数も含まれる。~~ ~~積上げる日数は日単位とし、半日、時間単位の作業予定であったとしても１日として加算する。~~ ~~※真夏日以上の日とは、予報値で湿球黒球温度(WBGT)28℃以上又は日最高気温が31℃以上の日をいう。~~ ~~なお、夜間作業の場合は作業時間帯の予報値が湿球黒球温度(WBGT)28℃以上又は日最高気温が31℃以上の日をいう。~~
追加				~~熱中症対策に係る現場施設、設備に要する費用~~		~~熱中症対策に係る、主に現場の施設や設備に要する費用については、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上することができる。希望する場合は、施設・設備の種類、規模、設置期間及び概算費用について、事前に調査職員と協議すること。~~
追加				賃金又は物価の変動に基づく業務委託料の変更の取扱い		本業務は「測量等業務における賃金又は物価の変動に基づく業務委託料の変更の取扱い」（令和８年３月５日付第202500244570号県土整備部長通知）の対象である。 請求等の取扱いについては、https://www.pref.tottori.lg.jp/326731.htm に掲載された本業務調達公告日時点で最新の取扱いによること。
追加				~~数量計算システム（試行版）の導入~~		~~本業務は「数量計算システム活用に係る試行要領」の対象である。数量計算システム活用の場合は、https://www.pref.tottori.lg.jp/330316.htm に掲載された本業務調達公告日時点で最新の試行要領によること。~~
追加				その他		

【地質・土質調査業務】

編	章	節	条	見 出 し	項	特記及び追加仕様事項
	1		107	現場代理人	3	資格要件は調達公告による。
	1		108	管理技術者	3	資格要件は調達公告による。
	~~1~~		~~109~~	~~照査技術者~~	~~1~~	~~本業務のうち、軟弱地盤技術解析業務［弾性波探査業務］については、照査技術者を定め照査を実施する。~~
					~~3~~	~~資格要件は調達公告による。~~
	~~1~~		~~112~~	~~打合せ等~~	~~2 5~~	~~本業務における打合せ協議は、下記の主要な区切において行うこととし、　回を予定している。 ・当初・中間・成果納品時 なお、業務着手時及び業務完了時には管理技術者は立ち会うこと。~~
	1		118	成果物の提出		地盤情報を「一般財団法人国土地盤情報センター」(以下「センター」という。）の検定を受けた上で、「国土地盤情報データベース」に登録しなければならない。地盤情報の公開・利用の可否について、発注者の指示に従って成果品データに「公開可否コード」を記入した上で、検定の申込を行うこととする。なお、検定に要する費用は、直接経費に「国土地盤情報データベース検定費」として計上し、諸経費率算定の対象額としない。検定費はボーリング 1 本につき、2,000 円を見込んでいる。 なお、止むを得ず有資格者を管理技術者に選任、ボーリング責任者に指定できない場合は、協議の上、検定費の変更（ボーリング 1 本につき 3,000 円）を行う。 電子納品の際に、センターから受領した検定証明書（PDF ファイル）を BORING/OTHRS に格納することをもって、提出する成果が検定済みであることを報告する。
	2		203	調査等	~~4~~	ノンコアボーリング又はオールコアボーリングの適用は以下のとおり。 ・ノンコアボーリング ~~・オールコアボーリング~~
追加				ボーリング責任者		資格要件は、地質調査技士とする。
追加				その他		・作業により発生する濁水等については、適切に処理すること。 ・作業終了の後片付けの完了の際には調査職員の確認を受けること。 ・ボーリングの掘進に必要な水源等の確保については、関係者等の承諾を得ること。

【設計業務】

編	章	節	条	見 出 し	項	特記及び追加仕様事項
1	1		1106	管理技術者	3	（必要に応じ資格要件を記載する。） ・業務経験
1	1		1107	照査技術者及び照査の実施	1	本業務は、照査技術者を定め照査を実施する。なお、照査に当たっては、「詳細設計照査要領」及び、調査職員の指示によること。
1	1		1110	打合せ等	2	本業務における打合せ協議は、下記の主要な区切において行うこととし、1回を予定している。 ・~~当初~~、中間（1回）、~~成果納品時~~ ~~なお、業務着手時及び業務完了時には管理技術者は立ち会うこと。~~
1	2		1209	設計業務の条件	1	【建設副産物・リサイクル】 鳥取県建設リサイクル指針、県土整備部リサイクル製品使用基準等に基づき、リサイクル製品、鳥取県認定グリーン商品等の積極的活用を図ること。 なお、リサイクル計画書の作成に当たり、他工事への搬出可能量等については調査職員に協議すること。
1	2		1209	設計業務の条件	11	【コスト縮減】 設計に当たっては、完成後の維持管理を含めたライフサイクルコストを考慮し、総合的な評価により工法等を検討すること。 また、必要に応じてコスト縮減関係留意書（平成11年5月14日管第102号鳥取県土木部長通知）を作成すること。
1	2		1211	設計業務の成果	1 （4）	設計図面、数量計算書は、必要に応じて、暫定、完成計画ごとに取りまとめること。 現場進入路が狭く、資材搬入に当たり小型車（2トン積、4トン積）への積替え等が見込まれる場合は、数量計算書の中に「材料集計表（砕石・購入土等）」を追加作成すること。 材料集計表を作成する対象資材は、土木工事実施単価表に掲載する「02. 一般資材単価」のうち「(07-1) 骨（石）材」及び「(07-2) 再生砕石」に該当するものである。
~~追加~~				~~特殊な条件~~		
~~追加~~				~~条件明示チェックシート~~		
~~追加~~				~~関係機関協議（資料作成）~~		~~関係機関との協議資料として、当該施設補修工事の際に必要となる河川占用協議資料を作成すること。~~
~~追加~~				~~施工計画~~		
~~追加~~				~~仮設設計~~		
~~追加~~				~~その他~~		